

Anti-CD134/OX40 (B#11) Mouse IgG MoAb

Code No. : RMCD134S302

1mg

はじめに : CD134/OX40 は HTLV-1 の転写活性化因子である Tax によって転写活性化される OX40 リガンド(OX40L)のレセプターで、活性化された CD4+および CD8+T 細胞に発現します。活性化 T 細胞上の OX40 は、樹状細胞や活性化 B 細胞などの抗原提示細胞上に発現する OX40L との結合により、T 細胞の増殖やサイトカインの産生の増強に関わる他、OX40L との結合を介して活性化 T 細胞の炎症部位への浸潤に関わっています。

免疫抗原 : 可溶性 OX40 のリコンビナントタンパク質

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(SP2/0 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : B#11

サブクラス : IgG₁

由来 : マウス腹水

精製方法 : プロテイン G 精製

包装形態 : 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS に溶解

保存方法 : -20°C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 2~8°C 保存 2 年間安定

使用目的 : ウェスタン・ブロッティング 10 µg/mL にて使用可能
免疫沈降法 10 µg/test にて使用可能
フローサイトメトリー 1 µg (1×10⁵ Cells あたり)にて使用可能
ELISA (Detector 抗体として) 5ug/mL にて使用可能

参考文献 1. Kondo K, Okuma K, Tanaka R, Matsuzaki G, Ansari AA, Tanaka Y. Rapid induction of OX40 ligand on primary T cells activated under DNA-damaging conditions. Hum Immunol. 2008 Sep;69(9):533-42.